

節水トイレの累計出荷台数が 2,000万台 を突破

～普及率は約25%。さらなる普及により、低炭素社会実現に貢献します～

一般社団法人 日本レストルーム工業会(本部:愛知県名古屋市、会長:喜多村 円(TOTO 株式会社 代表取締役社長執行役員))では、このたび洗浄水量が6L以下のトイレ(以下「節水トイレ」という)に関する出荷統計調査を実施しました。その結果、2016年11月に節水トイレの出荷台数が累計で2,000万台を突破したことがわかりました。

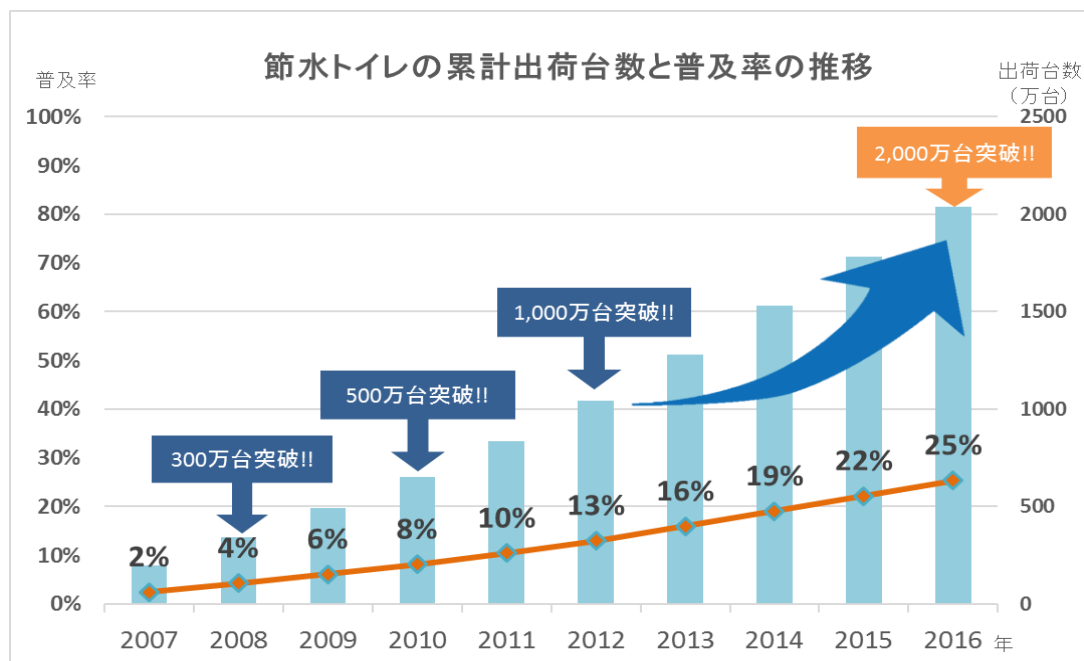
国内においては、1990年代末に発売が開始され、2000年代初頭に全社ラインアップされた後、普及が進む節水トイレですが、約15年でその累計出荷台数が2,000万台を突破しました。

しかしながら、その普及率はまだ約25%に留まります。

これまで、2010年には住宅エコポイント制度の対象製品、「都市の低炭素化の促進に関する法律」(2012年12月4日施行)の「低炭素建築物」対象製品、2016年には、住宅ストック循環支援事業の対象製品になるなど、国の政策でも普及促進への後押しが行われてきていますが、まだまだ普及へ取り組みが必要です。

当工業会では、引き続き低炭素社会実現に貢献するため、節水トイレのさらなる普及に取り組んでいきます。

- ・累計1,000万台に至るまで、約10年を要しましたが、その後わずか4年で累計2,000万台を突破しましたが、しかしながら、その普及率は約25%に留まっています。(日本レストルーム工業会推定)
- ・2017年現在に対して、日本のトイレすべてが節水トイレに置き換わった場合、1年で約7億1千万^{m³}(※1)もの節水(東京ドーム572杯分)が実現でき、CO₂も年間で41.9万トン(※2)削減できると推定されます。



※「一般社団法人 日本レストルーム工業会」加入会社(2017年3月現在)

アイシン精機株式会社、アサヒ衛陶株式会社、株式会社三栄水栓製作所、ジャニス工業株式会社、東芝ライフスタイル株式会社、TOTO 株式会社、株式会社ハウステック、パナソニック株式会社、株式会社 LIXIL

<本件に関する問い合わせ先>

一般社団法人 日本レストルーム工業会 担当:福浦・立石 TEL:03-5206-5493

(東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21 5階)

工業会ホームページ:<http://www.sanitary-net.com/>

<参考>

1. 各社の代表的な節水トイレ

アサヒ衛陶	ジャニス工業	TOTO	パナソニック	LIXIL
				
Eddy(エディ)	スマートクリンⅢ	ネオレスト	アラウーノ	サティス

2. 節水量・CO₂削減量 試算方法(日本レストルーム工業会推定) ※2017年3月見直し

(1)水洗トイレの市場ストック個数

約8,023万台

(2)水洗トイレ使用人数

約11,923万人

(3)1日1人あたりのトイレで使う水量

現在の市場ストックのトイレで試算した場合:約47.8L/日・人

全て6L以下のトイレに置き換わった場合:約31.5L/日・人

(4)年間削減水量(※1)

11,923万人 X (47.8L - 31.5L) / 日・人 X 365日 = **709,358,885m³/年**

(5)年間CO₂削減量(※2)

709,358,885m³/年 X 0.59 = **418,522トン/年** ※常緑樹に換算すると約2,989万本/年相当
以上

<参考資料>

住宅・土地統計調査(平成25年)

建物別ストック統計研究会報告書(2002年11月)

環境省 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課「日本の廃棄物処理 H26年度版」

省エネ・防犯住宅推進委員会「省エネ・防犯アプローチブック」(平成18年10月)

総務省統計局 統計データ「第2章 人口・世帯」(2010年度版)

総務省統計局 「平成28年6月1日現在 人口推計」より